



観光文化スポーツ部
秋田うまいもの販売課
調整・食品振興班
主事 櫻井 慎也

経歴：採用5年目

- H31年 観光文化スポーツ部
秋田うまいもの販売課
調整・食品振興班
- H30年 総務部 東京事務所
(丸紅株式会社出向
市場業務部 欧州CISチーム)
- H28年 入庁
北秋田地域振興局
総務企画部 地域企画課
企画・観光振興班
- H21年～H27年 JICA等公的機関

ある日のスケジュール

- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック
- 9:00 輸出向け日本酒パンフレット
作成について委託業者と
打合せ
- 10:00 委託業者と酒蔵を訪問し、
パンフレット作成のための
写真撮影、取材
- 12:00 昼食
- 13:00 大手百貨店バイヤーと県内
食品メーカーとのマッチング
商談の立ち会い
- 16:00 帰庁、報告書作成
- 17:00 課内打合せ
- 17:30 退庁
- 18:00 帰宅

わたしの職場はこんなところですよ

秋田うまいもの販売課では、食の特産品づくりへの支援、県産食品の輸出促進、東京にあるアンテナショップの運営管理、県産食品の首都圏等への売り込み、食文化の情報発信業務等を行っています。

わたしは今、こんな仕事をしています

「調整・食品振興班」は、主に食品や日本酒の輸出に係る業務を担当しており、輸出対象国を定めて国毎に事業を実施しています。現在は、フランス、中国、台湾、タイ、韓国の5カ国を対象とし、海外での商談会やPRイベントの企画運営、バイヤーと県内企業のマッチング、商談後のフォローなどに取り組んでいます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、事業の多くをオンライン商談に切り替えて実施しましたが、平常時はイベント運営のために海外へ渡航する機会があります。

秋田県のここが好き！

時間がゆっくりと流れるところが好きです。休日の時間の過ごし方でも、自然が豊かで山登りや釣りなどアウトドアのアクティビティも充実しています。また首都圏と違い通勤のストレスがないため、生活にゆとりを持てると思います。

どんな経験をお持ちで、行政Bを受験しましたか？

入庁前にJICAの青年海外協力隊(ルワンダ国派遣)に参加していました。ルワンダでは現地の自治体に配属され、インフラ整備に携わりました。

また協力隊以外でも経済開発(政府開発援助)分野の職務経験があり、海外業務で培った経験を秋田に活かしたいと思い入庁しました。

これまでで特に印象に残っている出来事(エピソード)はありますか？

入庁して最初に担任した仕事が内陸縦貫鉄道沿線の「田んぼアート」(異なった色の穂で田んぼ絵を描く)作成業務でした。当初、田んぼに入った経験もなく、稲がどのように育つか知識も無い中、同僚に助けられながら取り組みました。今では、住民やボランティアの方々と一緒に泥だらけになって作業したことが一番の良い思い出です。

地域コミュニティ支援を目的に行った事業ですが、私が一番住民の方々から教えられたと思っています。

オフは何をしていますか？

秋田犬が好きなので、秋田犬を飼っている温泉施設によく遊びに行っています。

どんな人と一緒に働きたいですか？

主体的に仕事をする人と仕事がしたいです。受け身ではなく、こういうアイデアを秋田県で実現したい！という思いを持った職員と仕事ができれば良いと思います。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

学生時代や社会人での経験を生かして、こういう分野で秋田に貢献できるといった具体的なイメージを描いて受験されると良いかと思います。応援しています！



生活環境部 自然保護課
鳥獣保護管理班
主事 赤川 桃子

経歴：採用9年目

- H30年 生活環境部 自然保護課
鳥獣保護管理班
- H27年 観光文化スポーツ部
スポーツ振興課
競技・生涯スポーツ班
- H24年 入庁
鹿角地域振興局 農林部
農業振興普及課 企画班

ある日のスケジュール

- 6:30 起床、朝食
- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼、メールチェック、
スケジュール確認
- 9:00 課内打合せ
- 9:30 許認可事務の処理、
申請者への問合せ・確認作業、
許可証の発行・送付
- 11:00 資料確認のため県警本部へ
その後、資料作成
- 12:00 昼食
- 13:00 業務打合せのため、
鳥獣保護センターへ(五城目町)
- 14:00 委託業務に関する打合せ
保護された野生鳥獣類の確認
- 16:00 帰庁、事務処理、
電話・来客者対応
- 16:30 メールチェック、
関係者への連絡
- 17:20 翌日のスケジュール確認
- 17:30 退庁
- 18:00 帰宅・夕食
- 23:00 就寝

わたしの職場はこんなところです

自然保護課は、世界遺産に登録されている白神山地の保全に関することや生物多様性地域戦略を担当する「調整・自然環境班」、野生鳥獣の保護・管理事業や狩猟免許試験などの猟政事業を担当する「鳥獣保護管理班」、自然公園内の登山道や山小屋などの維持・管理を担当する「自然公園班」の3班体制で業務を行っています。

事務職のほか、林業職、土木職、クマ対策の専門職員が在籍しており、それぞれの職種の職員が各分野の知識や経験を活かしながら業務に取り組んでいます。

わたしは今、こんな仕事をしています

「鳥獣保護管理班」に所属し、クマの目撃情報の収集・管理、鳥獣捕獲の許認可事務、五城目町にある鳥獣保護センターの関係業務などを担当しています。

当班は、クマによる人身事故やシカ・イノシシなどによる農業被害を未然に防止するため、野生鳥獣の保護管理に特化した班として平成30年度に新設されました。

秋田県のここが好き！

秋田の「食」が大好きです。季節の食材や地域ごとに特色ある食文化は、住んでいると特別なものを感じづらいますが、秋田の良さを味わえる魅力の一つだと思います。

どんな経験をお持ちで、行政Bを受験しましたか？

大学までスポーツを続けてきた経験から行政Bを受験しました。小学校から大学までクロスカントリースキー競技に取り組み、大学進学のために一度秋田を離れましたが、やっぱり地元で暮らしたいと思い、秋田で就職することを決めました。

大好きな秋田に何か恩返しできることはないだろうかと考えた時、自分の経験をもとに受験できる区分があることを知り、このことが受験へのきっかけとなりました。

秋田県職員として働く魅力をおしえてください。

行政の分野は多岐に渡りますが、その分多くの方との出会いがあり、人とのつながりを築けることが魅力だと思います。

入庁以来、これまでの9年間で、お世話になった方がたくさんいる地域での勤務や自分が取り組んだスポーツの分野での業務を経験することができました。初めて担当する仕事でも人のつながりを感じることができたり、自分が経験してきた競技が様々な立場の方が携わっていることを知ったりと、どんな仕事にも人の支えがあることを改めて実感しました。

オフは何をしていますか？

高校時代の友人とご飯を食べに行ったり、買い物や旅行に出かけたりすることがリフレッシュの時間になっています。

最近は機会が減ってしまい、頻繁に会うことはできませんが友人との時間も大切にしていきたいです。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、ひと言！

何かに一生涯懸命に取り組んだことのある経験は、必ず仕事に活きます。秋田のために何かしたいという想いがあれば、どんな場面でも前向きに取り組むことができると思います。

一緒に頑張りましょう！